

キャラクター名
黒蜂 闇矢 (こくほう あんや)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	UGNチルドレン
	パロール					
オプション			年齢	15	性別	男
覚醒	感染	衝動	自傷	初期侵食率	33	%
出自	忘却	経験	恐怖	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	3		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
友人	P 遺志	N 悔悟		
星見支部長	P 尊敬	N わからない		
柘木さん	P 連帯感	N わからない		
赤いフードの少女	P 好奇心	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
螺旋の悪魔	3	3	セットアップ					
効果:	ラウンド中追加判定攻撃+[Lv*3]/暴走							
赤: 無機なる四肢	1	1+1	Xジャー					
効果:	攻撃+[Lv+4]/ダメージ-1							
コネ:ウロボロス	2	2	Xジャー					
効果:	C値-Lv							
喰らわれし贅	3	1	オート					
効果:	ダメージトリガー/ターン中追加判定攻撃+[Lv*3]/ターン1回							
白: マシラのごとく	3	5+2	Xジャー				80↑	
効果:	攻撃+[Lv*10]/ダメージ-5/シリア1回							
時間凍結	1	5	インシテアブ				80↑	
効果:	インシテアブ/HP-20/シリア1回							
ディメンジョンゲート	★	3						
効果:	いつも便利							
シャドウガイバー	★	2						
効果:	影に触れると感情を読み取れる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「一度僕の”影”に触れた時点でもう・・・終わりになんです・・・。王殺し”チェックメイト”です・・・。さようなら」
 暗い印象を感じさせる大人しめなUGNチルドレン
 自身の影を相手にまともにつかかせて攻撃する。大概彼の初撃では致命傷を与えることすらもなかなか難しい。
 彼の本当の力は”二撃目”からである。
 彼の影に触れた対象は影を伝って彼のウロボロス能力によってレネゲイドの力を「解き明かされてしまう」。
 解き明かされてしまった対象と彼には螺旋状の紫色の痣が浮かび上がる。
 この状態になることで彼の能力の全力を初めて使うことができる。彼の影は運動性の毒となる。
 故に「ホネット」のコードネームをつけられた。
 ▼生い立ち
 幼いころからUGNチルドレンとして教育を受けながら貴重な「ウロボロス」の被検体としても扱われてきた。
 彼の性格はこの扱いによって形成されたもの。
 ある日、彼の数少ない友人が能力の暴走によって暴れてしまう。現場に居合わせた彼はその甘さから手を抜いた一撃で落ち着かせようところみでしまう。結果的にその一撃はくしくも友人をジャーム化させてしまう決定打となってしまった。
 この一件での彼の後悔はすさまじく、以降の任務では確実に仕留めるため、苦しませないために「二撃必殺」のスタイルをとる。
 今はジャームと化して冷凍保存されている友人を救う手立てがいつか見つかるかと信じて任務を続けている。
 過去の記憶は彼にいつまでも付きまとい、敵と戦う時もとくあえず話し合うことはできないのかと模索するようになる。お互いに傷つけ合う必要なんてないんだから。
 ただ大半は聞く耳も持たれず攻撃を受け大けがをして帰ってくる。死に場所を探してるのかもかもしれない・・・？
 どうしても排除しなければならぬ対象と戦う時、脳にレネゲイドウィルスに強く干渉させ情や迷いを一時的に「凍結」させ、ただ敵を駆逐するチルドレンらしい存在になることができる。(時間凍結)
 それをすることで脳と体へ大きな負荷がかかるため寿命は縮む、そのうち死ぬ。
 支部のみんなのことは大好き、素直なので素敵ですね！かわいいですね！かっこいいです！とか普通にいう。全肯定こくほーくん